

近畿地建
資料配布

配布日時	平成12年3月2日(木) 14時
------	------------------

件名	<p>大阪交通需要マネジメント推進会議の 設立について</p> <p>・大阪府域での道路混雑を緩和し、豊かな環境を創造するため、広域的な交通需要マネジメント施策の推進を図ることを目的に平成12年3月3日に「大阪交通需要マネジメント推進会議」が設立されます。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取扱い	_____
-----	-------

同時配布	<p>近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ</p> <p>大阪府政記者クラブ 大阪市政記者クラブ 大阪経済記者クラブ</p>
------	----------------------------------------------------------------

問い合わせ先	<p>建設省近畿地方建設局</p> <p>企画部広域計画調査課 課長 吉田 信博 (内3211)</p> <p>道路部道路計画第二課 課長補佐 廣瀬 昌治 (内4252)</p> <p>TEL 06-6942-1141(代)</p> <p>06-6942-4090(嬭)</p> <p>大阪府</p> <p>土木部交通政策室交通計画係長 井出 仁雄 (内3974)</p> <p>TEL 06-6944-6779(直)</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大阪交通需要マネジメント推進会議の 設立について

大阪では、郊外での人口増加などによる自動車の都心部への流出入や都心内での移動交通が多く、それに伴う渋滞が社会的、経済的損失や環境の悪化などを招いています。移動手段に占める公共交通の分担率は、大阪は世界的にも国内的にも高い水準にありますが、昨今その輸送人員は減少傾向にあります。また、道路整備は進んでいるものの、依然として交通渋滞が発生しています。

このような問題に対処し、環境への負荷の小さい、公共交通と自動車交通が調和した交通体系をつくるため、道路などのハード整備に加えて、既存ストックを有効活用するソフト的な施策である、交通需要マネジメントに取り組む必要があります。

交通需要マネジメントについては、これまでも関係各機関において、ノーマイカーデーや公共交通のサービス向上など各種施策に取り組んでいますが、実験的段階のものも多くあります。また、日本ではパークアンドライドや公共交通機関の利用促進策など、導入に当たって合意形成が比較的容易で誘導的な施策を中心に実験や実施されているのが現状ですが、このような誘導的な施策を個別に実施するだけでは、その効果に限界があります。

そこで多くの関係者が手を携え、広域的な交通需要マネジメント施策を広く市民等の合意形成を図りつつ戦略的に実施するため、下記のとおり「大阪交通需要マネジメント推進会議」を設立します。

1. 日時 : 平成12年3月3日10時から
2. 場所 : プリムローズ大阪 2階 羽衣 (大阪府中央区大手前3-1-43)
3. 目的 : 大阪府域での道路混雑を緩和し、豊かな環境を創造するため、広域的な交通需要マネジメント施策の推進を図ること
4. 構成 : 有識者、建設省近畿地方建設局、運輸省近畿運輸局、大阪府、大阪府警察本部、大阪市、阪神高速道路公団、社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所 (その他の機関、団体などにも今後幅広く参加を呼びかけていきます)

※会議場には記者席を設けております

【解説】・交通需要マネジメント (TDM: Transportation(Travel) Demand Management)

道路の混雑緩和と、それに伴う環境改善や経済の活性化を図るため、利用者に対し交通需要の削減や平準化を促す(交通行動の変更を促す)手法です。

・パークアンドライド (P&R)

マイカーを最寄り駅に駐車(パーク)し、電車に乗って(ライド)会社まで通勤する手法です。この手法により公共交通機関の利用を促し、都市内の交通渋滞の緩和を図るとともに、渋滞で長くなりがちな通勤時間の短縮を目指します。

■会議の進め方

当面の戦略として、各種施策を組み合わせ、幅広く個人や企業に実験への参加の呼びかけを行う、インパクトのある社会実験を繰り返し実施する。これにより個人や企業の自動車利用意識の変革を目指すとともに、交通需要マネジメントの各施策に対する合意形成を図る。また並行して、中長期的な施策についてその効果や導入可能性等を検討する。

具体的には、平成12年度にパークアンドライドや駐車対策、時差通勤の呼びかけなど各種施策を組み合わせた社会実験実施に向けて検討を行い、実験の実施に際しては、個人や企業に対して実験への参加を呼びかけることにより、できるだけ公共交通機関を利用してもらい、どのような自動車利用がどのように公共交通機関に転換できるのか、あるいは平準化できるのかなどを調査する。

この調査結果を踏まえ、引き続き、抑制的な施策の導入も視野に入れた社会実験の実施を検討する。

■構成メンバー

・委員、有識者

◎大阪大学工学部助教授 新田保次

○神戸商船大学商船学部教授 小谷通泰

・委員、関係機関

建設省近畿地方建設局企画部長

建設省近畿地方建設局道路部長

運輸省近畿運輸局企画部長

大阪府土木部長

大阪府警察本部交通部長

大阪市計画調整局長

阪神高速道路公団計画部長

社団法人関西経済連合会事業推進第1部長

大阪商工会議所経済部長

注 ◎座長 ○副座長